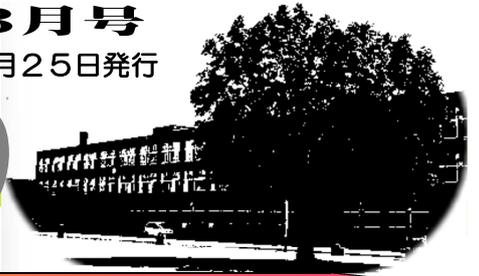




啓北だより



啓北中50年の底力:つなぎ、広げ、前へ

成長著しいこの一年を終えて、 啓北50年のその先へ...

校長 東藤 義文

先日盛大に行われた卒業式。77名の卒業生が立派に啓北中を巣立っていきました。式は卒業生も在校生も引き締まった態度で、語りや合唱なども実感と心のこもった感極まるものでした。式の準備や儀式に臨む姿からは一年間の成長が大いに感じられました。

啓北中学校開校50周年の今年は、学校行事に部活動に学校のリーダーとして精一杯活動し、多くの感動を与えました。そして何より、日常生活に学習に確かな歩みを重ねました。

平坦ではなかった3年間。様々な葛藤に悩み苦しむこともたくさんありましたが、今の姿には成長の糧として意味のある経験を積み重ねたことが表れています。

A Iや情報化、グローバル化の進展が著しく、急激な変化による不安定な時代を迎えています。君たちの遙か旅路の先には大いなる可能性があります。どんな時代でも普遍的な、人としての真心、折れることなく自分を信じて挑戦する心の強さ、仲間への理解や深い思いやりと絆を見失うことなく、こうなりたいという自分への目標をもち、自分探しに挑んでください。

「自分の持っているもの、そのすべてを出し切ったら、悔いのない一生になる。そのために社会に出たら自分をどう表現したらいいのか。自分を甘やかさないで、何事にも積極的に取り組んで、社会に出たら示すものをたくさん蓄えてほしい」(長嶋茂雄さんの言葉の一部を引用)

上は式辞での卒業生へのはなむけの言葉です。卒業生の活躍を心から祈っています。

さて、今日で200日を超える1年間の幕を閉じます。

今年度は啓北中学校開校50周年の節目の年ということで、「つなぎ、広げ、前へ」をテーマに活動してきました。1年生の学習意欲や集中力の向上、2年生の頼もしいリーダーシップや新しいことへの挑戦など、この3学期は学習に生活に大いに充実し、目に見えて変わっていく、成長していく人がたくさん見られました。

しかしながら、身も心もまだ卒業生には及びません。それだけ中学生としての一年一年の重み、時間と経験の差は大きいことを感じます。はじめは未熟だった3年生も一步一步自分の力で課題を解決する卒業生に変わっていきました。だから皆さんも出来るはずです。

終わりは始まりの第一歩。4月から新入生を迎えて新しい啓北中の一年が始まります。

「夢を馬鹿にすると路頭に迷う時代。自分で何をするか決める仕事は残り、人から言われてやる仕事はAIに取って変わられる。」(北海道大学・川村教授の言葉より)

わかりやすく置き換えるなら、これからの時代を生きるためには「自分が何をしたいかをもっていなければならない」ということです。事務的なことはA Iがやってしまいます。

新年度を迎えるに当たって「夢」をもつこと。その夢とは空想や妄想でなく、こういう自分になりたいという目標です。そして、嫌なことや面倒なことでも辛抱強く自分をコントロールし、頑張った末の充実感を味わってほしいです。

啓北50年、その先に向かう新しい1年は君たちの手の中にあります。

信頼される人を目指して、仲間と力を合わせて努力する皆さんを応援します。



* 地域・保護者の皆様、本校安定の源は地域・家庭の高い教育力にあります。今年度も本校の教育活動に温かいご理解ご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

公立受検応援集会

すでに受験が終えた3年生が、公立高校の受験に臨む仲間たちを勇気づけるための集会が行われました。受検は団体戦です。全ての仲間が志望校に合格できてこそ、喜びは高まります。



同窓会入会式

第1回卒業生の堀江様にご来校いただき、歓迎のお言葉をいただいた後、記念品の贈呈を受けました。今年の卒業生を含む啓北中の同窓生は7766名になります。

卒業生の皆さんには、母校や地域への愛着を大切にして、地域創生の担い手になってほしいです。



第50回卒業証書授与式

有終の美を飾る 門出を祝して

3月13日(金)に「卒業証書授与式」を挙行了しました。卒業生は、今後、夢に向かって挑戦するとき、新たな困難にぶつかることもあるかもしれませんが、しかし、どんな局面にあっても、中学校生活3年間で培ってきた強い意志をもって挑戦し、努力し続けながら自らの道を切り拓いてくれることを願っています。



学級編制の方針

次年度に向け、学年末・学年始め休業中に、お子様一人ひとりが新しい環境で安心して学習に励み、自己の能力を最大限に発揮できるよう、慎重に学級編制の検討を進めていきます。

学級編制は、学校の3つの原則(①子どもの成長にとって最適か②学級全体の総合的なバランスが保たれているか③公平性が担保されているか)に基づき判断しています。お子様の一人ひとりが「安心して学び、成長できる」環境づくりを重視しつつ、多様な人間関係の中で適応力を育てるための大切な学びの場として捉えています。変化の激しい時代だからこそ、多様な他者と協働したり折り合いをつけたりする経験の積み重ねこそが、将来の「逞しく生き抜く力」になります。

学級全体のバランスと、お子さんの成長にとって最善の環境を考え、学校として総合的に判断いたします。各学年2学級しかないため調整に限界があり、ご期待に添えない部分もあると思いますが、お子様が新しい環境で安心して過ごせるよう、担任や学年団と連携し、学校全体でしっかりサポートいたします。

★新学期の学級名簿貼り出しは、始業式前日の4月6日(月)14:00~16:00に生徒玄関前に掲示します。

今年度の人事異動が発表され、7名の教職員が啓北中学校を離任することになりました。これまで保護者や地域の皆様よりお寄せいただいたご厚情に対し、心よりお礼申し上げます。



大変お世話に
なりました!

校長	東 藤 義 文	役職定年につき退職
教諭	木 末 携 志	旭川市立緑が丘中学校へ転任
教諭	佐 藤 繁 隆	士別市立士別中学校へ転任
教諭	長 田 頼 子	鷹栖町立鷹栖中学校へ転任
時間講師	土 岐 勝 浩	任期満了
特支補助指導員	工 藤 雅 子	任期満了
教員業務支援員	加 藤 志 保	任期満了